平成 26 年 10 月 15 日

各　位

会　社　名　スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名　代表取締役社長　阿部　修平
(コード 8739　東証JASDAQ スタンダード)
問い合わせ先　経営管理部長　峰松　洋志
電 話 番 号　０３－６７１１－９１００
U　R　L　http://www.sparx.jp/

再生可能エネルギー投資に関するお知らせ

当社グループの実物資産運用ビジネスの 1 つである再生可能エネルギー投資に関連し、ここ数週間で様々な報道等がなされておりますので、下記のように取り纏め、お知らせいたします。

なお、既に投資を決定・実行した案件に対する影響は無いものと考えております。

記

一連の報道等を纏めると、当社グループのビジネスに対する示唆としては、大きく以下の 2 点に集約されると考えております。

① 太陽光発電については、設備認定済みの比較的規模の大きい事業者の発電所を優先して稼働させる一方、運転開始の可能性が低い案件は買取価格を引き下げる等によって排除される。

② 太陽光発電への過度な集中を緩和するため、風力、地熱、バイオマス及び小水力のような他の再生可能エネルギー発電の成長を促す施策が講じられる。

これら一連の報道等に見られる方向性に対しては、以下の通り考えております。

① 太陽光発電については、既に投資実績があり、ファンドとして投資プロセスが明確でノウハウを有する当社グループに、比較的実現可能性の高いプロジェクトが、今後集中して持ち込まれると思われる。またその一方で、実現可能性の低いプロジェクトが排除されることは、投資プロセスにおける案件検討が効率的に進められることにも繋がり、結果的に作業効率が高まるであろうと思われる。

② 太陽光発電以外の再生可能エネルギーについては、既に九州地方における地熱発電所運営会社に一部出資している他、東北地方における風力発電所の開発案件を取得している等、着実に知見の蓄積が進んでおり、かつ、これらが投資実行の段階に差し掛かっていることなど、太陽光発電への集中の緩和策を、着実に進めつつある。

2014 年 6 月末時点において、設備認定済み太陽光発電施設（10kw 以上）は約 20 兆円の規模に達しておりますが、そのうち既に稼働した設備は 2 兆円程度にとどまります。これらの認識を踏まえ、これまで以上に投資プロセスのステータス管理を厳格に行うことによって実現可能な案件を適切に選別し、迅速かつ積極的に投資してまいる一方、風力、地熱、バイオマス及び小水力といった他の再生可能エネルギー発電所への投資を加速してまいります。

以上